

# 2020年に向けた 高アクセシビリティ社会へのおもてなしソリューション

2015年3月9日

パナソニック株式会社

東京オリンピック・パラリンピック推進本部

# オリンピック・パラリンピックの公式スポンサー契約締結

- ① 2020年 東京大会の成功を強力に支援
- ② カテゴリー商品を通じ、誰もが暮らしやすい社会を実現



# オリンピック・パラリンピックに訪れる障がい者数

## I P Cの規定によるアクセシビリティな席の数

- オリンピック大会総座席数のうち、0.75%以上の車いす席を設置する
- パラリンピック大会総座席数のうち、1%以上上の車いす席を設置する  
特に車いす使用者が多いと考えられる競技は、1.2%以上

オリンピック・パラリンピック東京大会では、

期間中来場者数のべ1,000万人、

1日あたりの会場来場者 最大92万人(東京都予測)のうち、

期間中 7.5万人以上、

ピークでは1日 約7千人以上が車いすで来場

を想定する必要がある。

予測に基き  
計画必要

会場施設

交通

宿泊施設

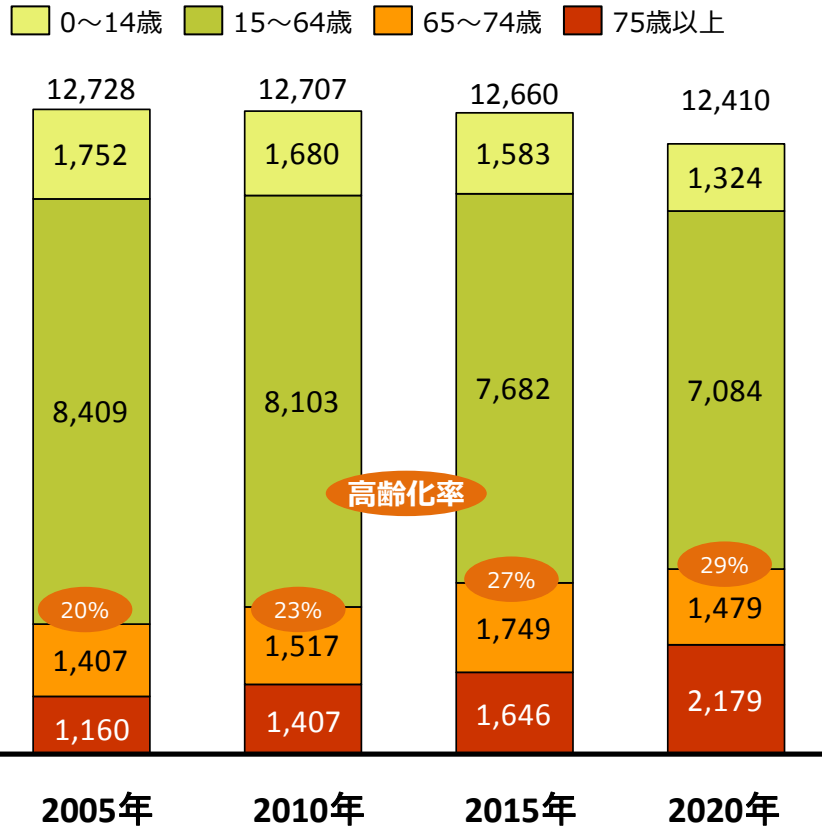
介助者・ボランティア

# 高齢者、訪日外国人旅行者の推移

- 65歳以上の高齢者の割合、訪日外国人旅行者の人数共に増加の一途
- 高齢者、外国人向けに設計された街づくりやシステムは、後世に残る『レガシー』となる

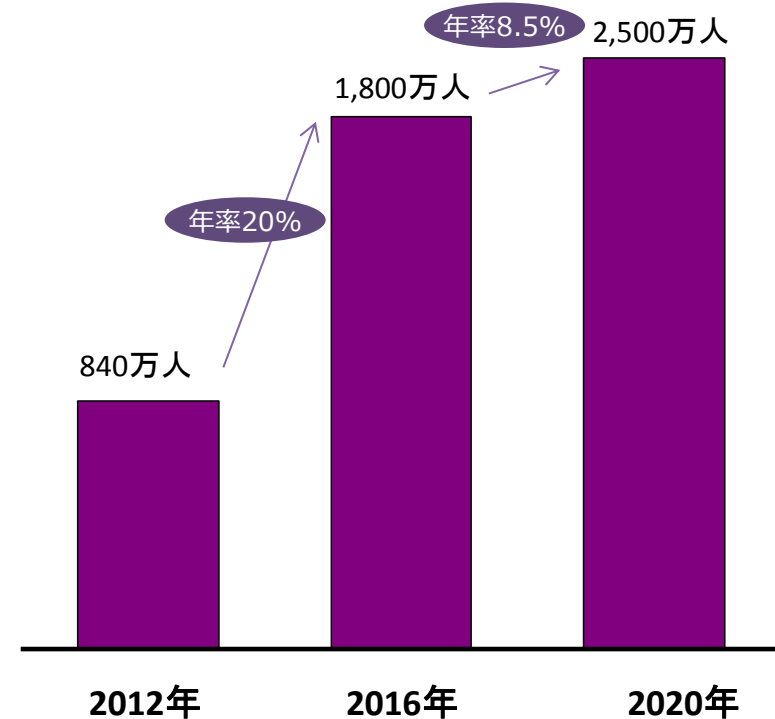
## 日本の高齢者人口

2025年にかけての人口推計(万人)\*1



## 訪日外国人観光客数

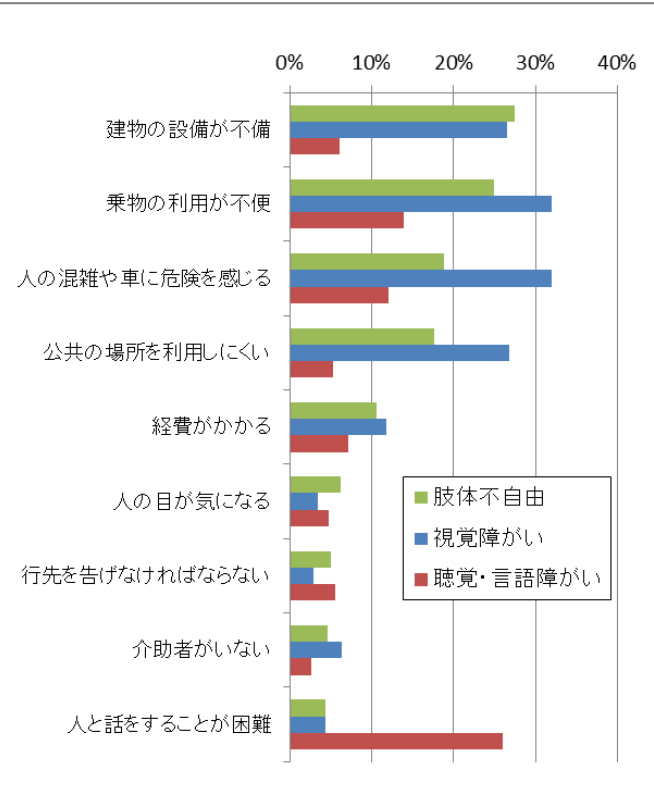
2020年に向けた政府目標人数\*2



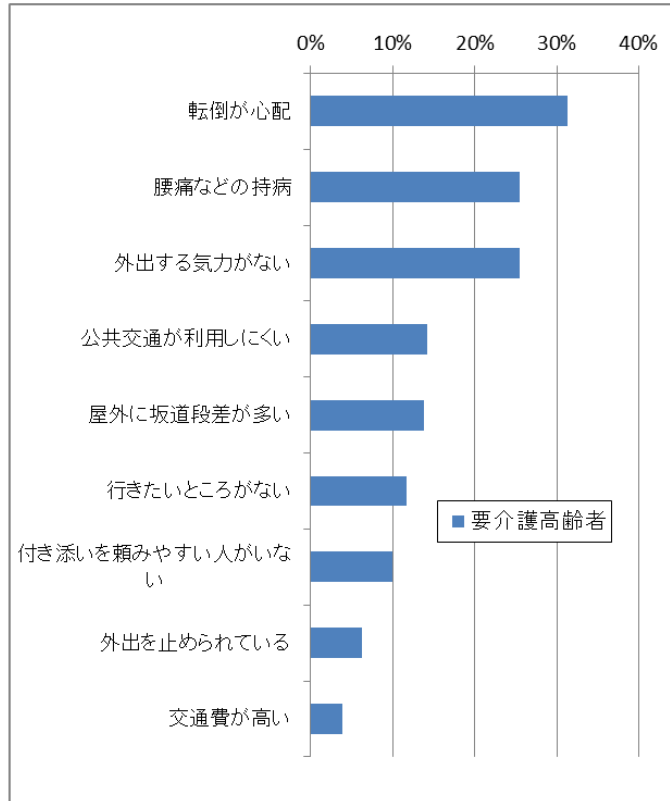
# 障がい者、高齢者、外国人の旅行や外出での不安

- 障がい者、要介護高齢者、外国人の方々が抱える不安は共通項が多い
- 健常者、障がい者問わず、オリ・パラ観戦を楽しんでいただくには、これらの課題解決が必須

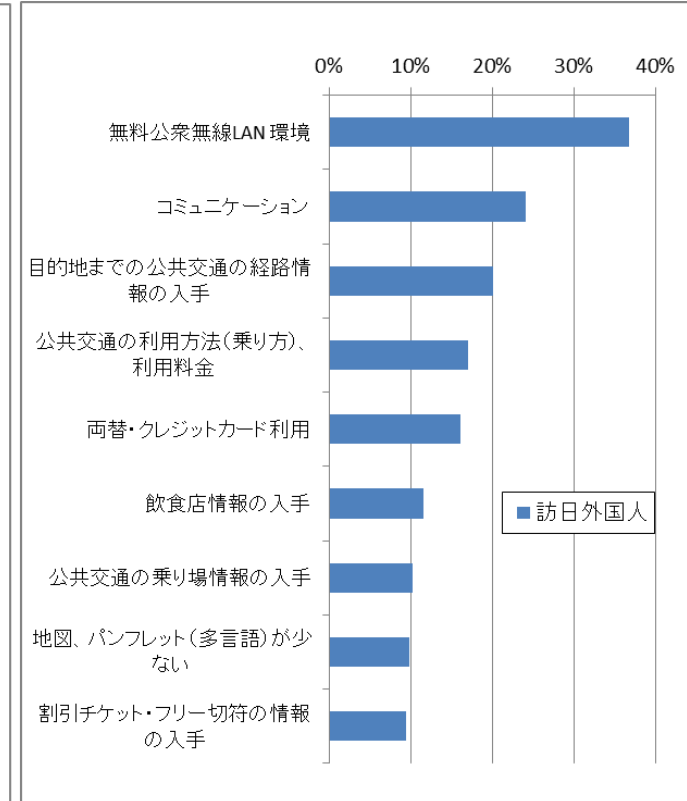
## 障がい者が外出するうえで、 また外出しようとするうえで困ること\*1



## 要介護高齢者が外出しない理由\*2



## 訪日外国人が旅行中に困ったこと\*3



建物、乗物の  
バリアフリー

混雑下での  
安全誘導

介助者への  
気遣い

健康不安

コミュニケーション  
不安

外国語の  
情報入手困難

# ロンドン大会事例

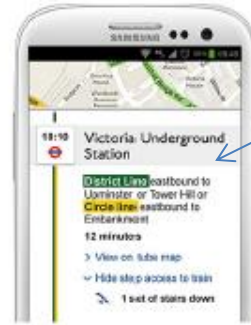
- 徒歩、自転車、公共交通による乗り換え検索ができるJourney Plannerによるスムーズな移動支援
- 障がい者のための個別の移動オプションサービスも充実

## Journey Planner

- ロンドン市内の二地点を結ぶ、徒歩・自転車・公共交通による乗換え検索ができるシステム
- 大会期間中は、チケット購入者のために特設した**Spectator Journey Planner**（チケット購入者の90%にあたる249万件利用）を立ち上げ、大会期間中の交通事情を考慮した検索や、施設の予約なども行えるシステムに



出典：ロンドン交通局（TfL）資料



エレベーターを使用しなければ移動できない、乗換えが最も少ないルートなどといったオプションの条件を設定することが可能



出典：ロンドン交通局（TfL）資料

## PHV (Private Hire Vehicles) 事前登録制ハイヤー



出典：ロンドン交通局（TfL）資料

## ダイアル・ア・ライド（130万回/年）

バス、鉄道、地下鉄などを利用できない障がい者のための無料ドア・ツー・ドア送迎サービス



出典：Taking forward the Mayor's Transport Strategy  
Accessibility Implementation Plan

## ボランティアスタッフのサポート



出典：The London Games in Motion



# 2020年 高アクセシビリティ社会の姿

- 社会インフラとパーソナル機器とのICT連携により、誰もが安全に迷うことなく、会場への移動を可能に
- 「レガシー」として、モデルを全国へ展開

空港

ホテル(自宅)

駅

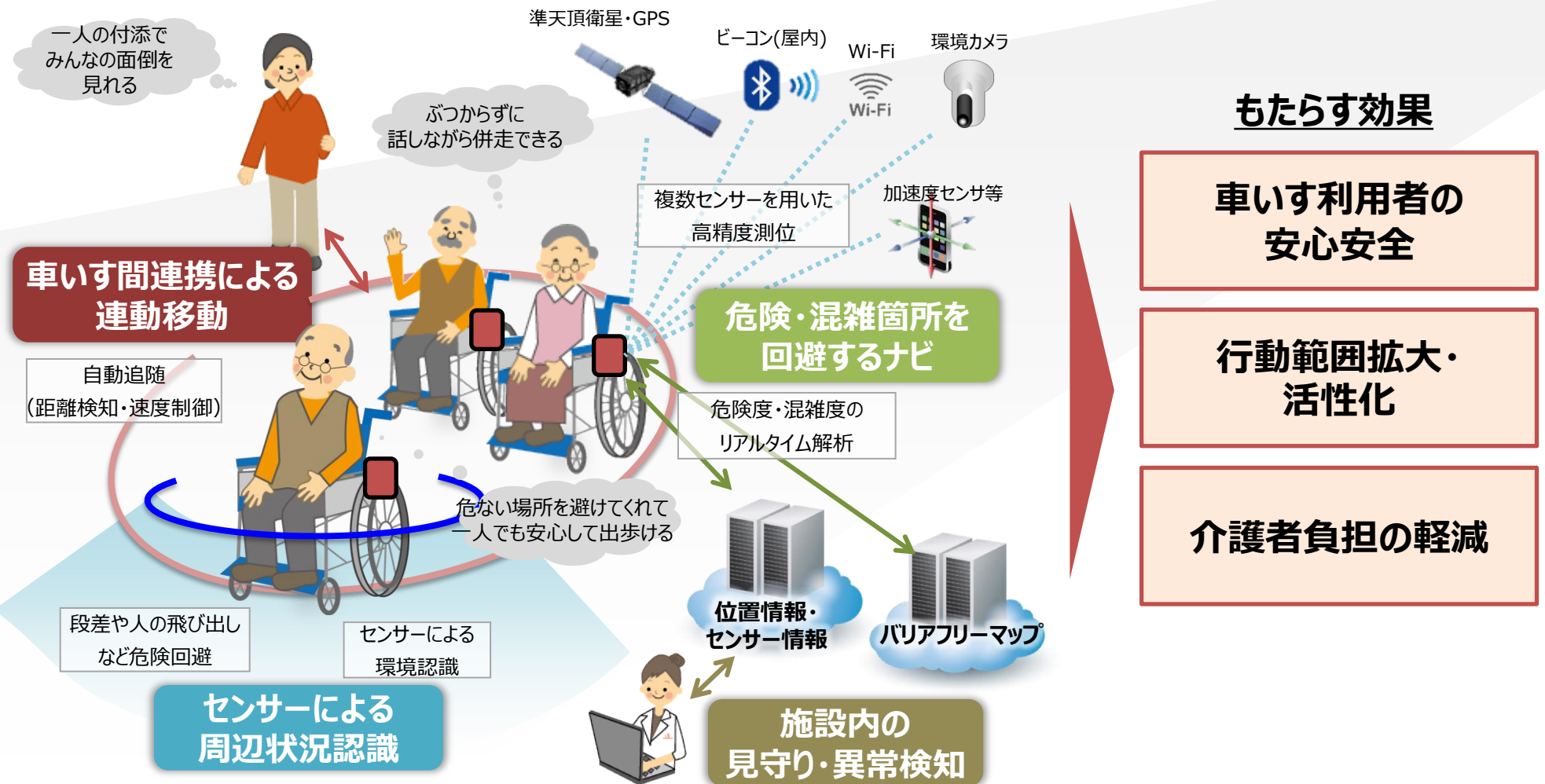
会場

クラウド連携により、パーソナルモビリティのまま迷いなく公共交通へスムーズな乗り継ぎ



# 歩行困難者が介助なく外出できる社会 ①ロボット電動車いす

主要施設のバリアフリーマップ整備と、屋内外における高度な測位技術の確立によって、ロボット電動車いすによる、安全な自律移動・連携移動を実現する





# 歩行困難者が介助なく外出できる社会 ②行く先々でのスマートなサポート

- 事前に登録した旅行計画に基づいたサポート人員配置
- 障がい者自らもボランティアとして参加



# 訪日外国人や聴覚障がい者が言語の壁を感じない社会

宿泊～街なか～移動など、様々なシーンに自動翻訳を提供し、訪日外国人が日本でも言語の壁を感じないで済むような世界を実現

## A: 宿泊施設



## 自動翻訳デバイス



## C: 防災



## B: 交番



## D: 鉄道



# 非常時にあらゆる人を安全に避難誘導するデジタルサイネージ

- ・多言語対応で世界各国からの来場者を誘導
- ・視覚・聴覚障がい者に対応したマルチモーダルな伝達
- ・車いす利用者に安全なバリアフリールートを提示
- ・平常時は様々な演出やナビゲーションに活用



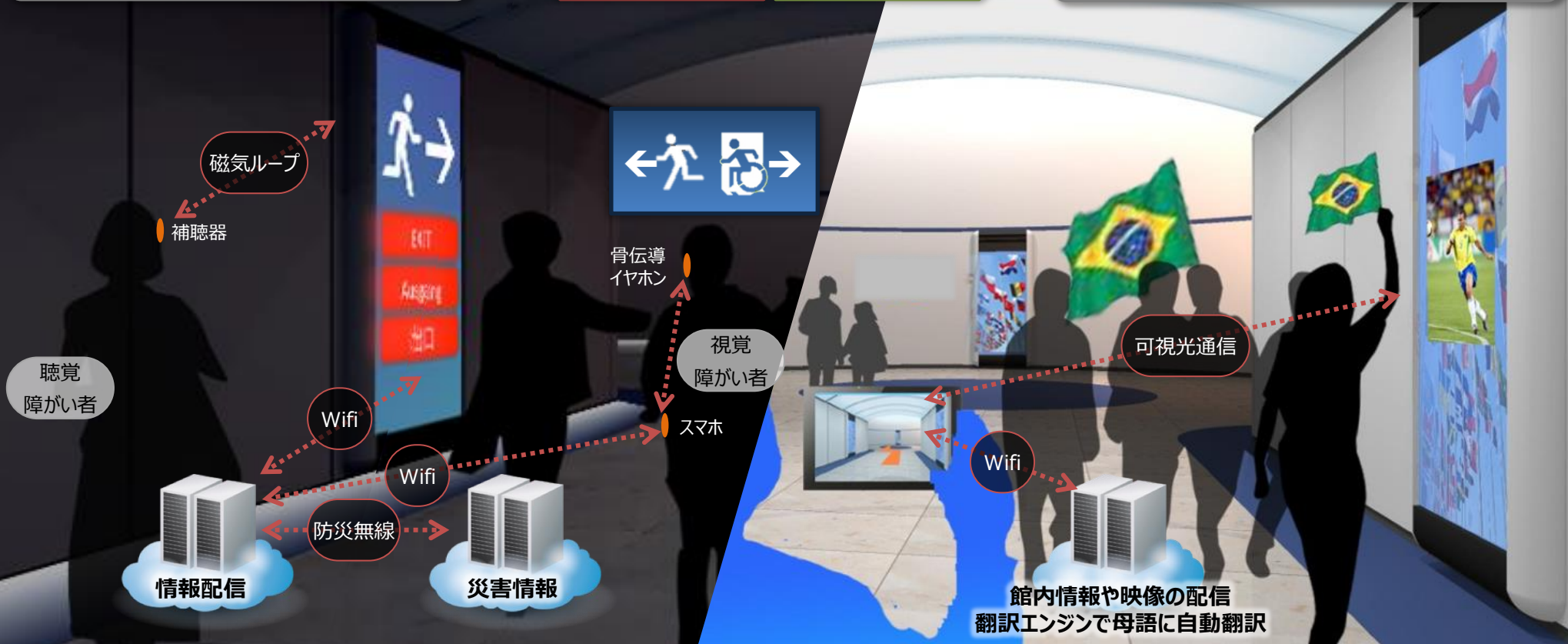
## バリアフリー & ユニバーサルな 防災インフラ

避難誘導サイネージ  
(防災無線と連動した多言語避難誘導)

非常時

平常時

パーソナライズドナビゲーション・映像配信  
(可視光通信活用でスマホに多言語配信)



非常時も通信網・電源を確保し来場者を誘導

属性・状況に応じたダイナミックサイン

# ICTを利用したパナソニックの高アクセシビリティ社会への貢献

身体能力や言語の差が、できないこと・行けないところ・ストレスを生まない  
誰もが活動的に豊かな人生を送る社会をICTで目指す

